

# 2008年3月期会社説明会

私たちは電気・電子関連材料と部品の“One Stop SHOSHA”です。

I. 企業概要

II. 2008年3月期の業績

III. 2009年3月期の業績予想

IV. 中期の成長戦略

V. 質疑応答

2008年5月26日

 大西電気株式会社

 JASDAQ

証券コード: 3095

# I. 企業概要

---

# プロフィール

社 名 大西電気株式会社 (OHNISHI DENKI CO.,LTD.)

本 社 〒601-8036 京都市南区東九条松田町138-2

代 表 者 代表取締役社長 大西 俊一

設 立 1958年(昭和33年)9月1日

資 本 金 427,682千円(2008年3月31日現在)

従 業 員 数 連結 123名 単体 91名 (2008年3月31日現在)

事 業 内 容 電気・電子関連材料、部品、モジュールの販売  
および加工、組立販売

関 係 会 社  
(4社とも連結子会社)

- ①大西電気(香港)有限公司
- ②大喜貿易(上海)有限公司
- ③大西国際貿易(大連保税区)有限公司
- ④OHNISHI DENKI (S) PTE LTD.

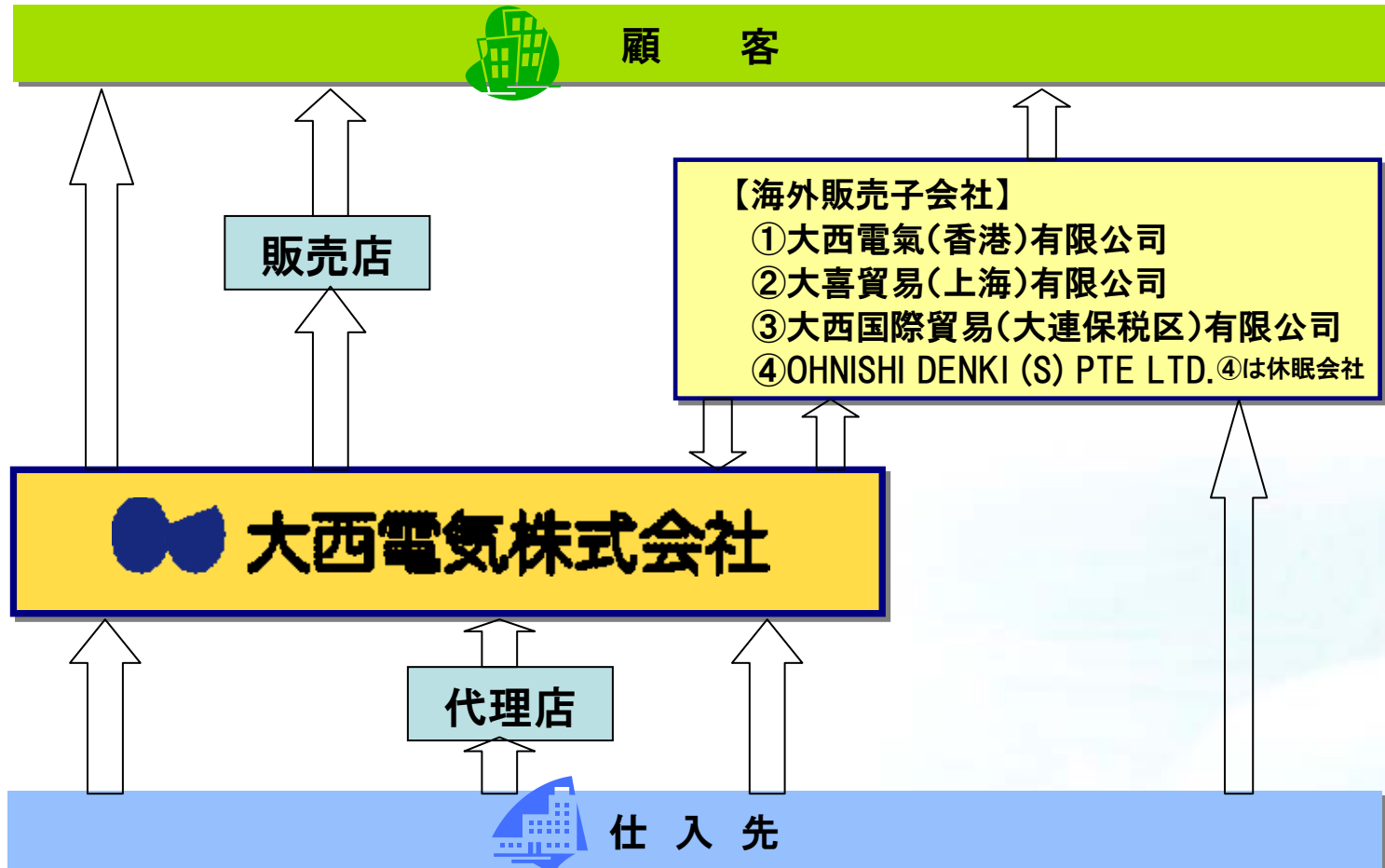
※ ④は休眠会社

# 沿革

1958年 9月	京都市に大西電気株式会社を設立、電気絶縁材料の販売を開始
1964年 10月	大阪事務所を開設(現、大阪支店)
1976年 9月	横浜営業所を開設(現、関東支店)
1999年 3月	ISO9002を認証取得
2000年 9月	香港に現地法人「大西電気(香港)有限公司」を設立
2001年 10月	ISO14001を認証取得 2002年3月 ISO9001:2000年版を認証取得
2002年 7月	上海に現地法人「大喜貿易(上海)有限公司」を設立
2002年 8月	大連に現地法人「大西国際貿易(大連保税区)有限公司」を設立
2004年 7月	宇都宮営業所を開設
2005年 5月	ベトナムのホーチミンに駐在員事務所を開設
2008年 2月	ジャスダック証券取引所 上場

# 事業フロー

エレクトロニクス産業を中心に電気・電子関連材料、部品、モジュールの販売を主業務とする専門商社



# 主な販売製品

## 電気材料

- ✓ 工業用・電気用テープ
- ✓ テープ複合加工品
- ✓ 絶縁材料とその加工品
- ✓ 接着剤、ポッティング剤・コーティング剤
- ✓ 異方性導電膜

## 電気部品

- ✓ コネクタ・圧着端子
- ✓ ヒューズ
- ✓ プリント配線板
- ✓ 配線アクセサリ
- ✓ 電磁波対策製品
- ✓ ヒートシンク
- ✓ 小型電池
- ✓ 印刷ラベル・銘板
- ✓ 電線

## 電気モジュール

- ✓ 電子機器の開発・設計・製造受託(EMS)
- ✓ ワイヤーハーネス
- ✓ 工業用ヒーター
- ✓ 電源・無停電電源装置(UPS)

## フラットパネルディスプレイ関連材料・部品

- ✓ FPD向け関連製品

## 無線周辺機器関連材料・部品

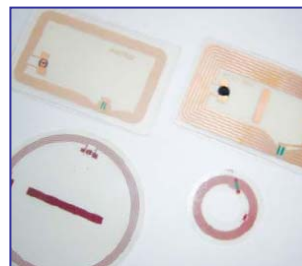
- ✓ ICカード・タグ用アンテナ
- ✓ UHF帯ICタグ
- ✓ リーダー・ライター
- ✓ RFIDシステム開発



工業用・電気用テープ



コネクタ



ICタグ



PCB-FPC

## Ⅱ. 2008年3月期の業績

---

# 損益計算書

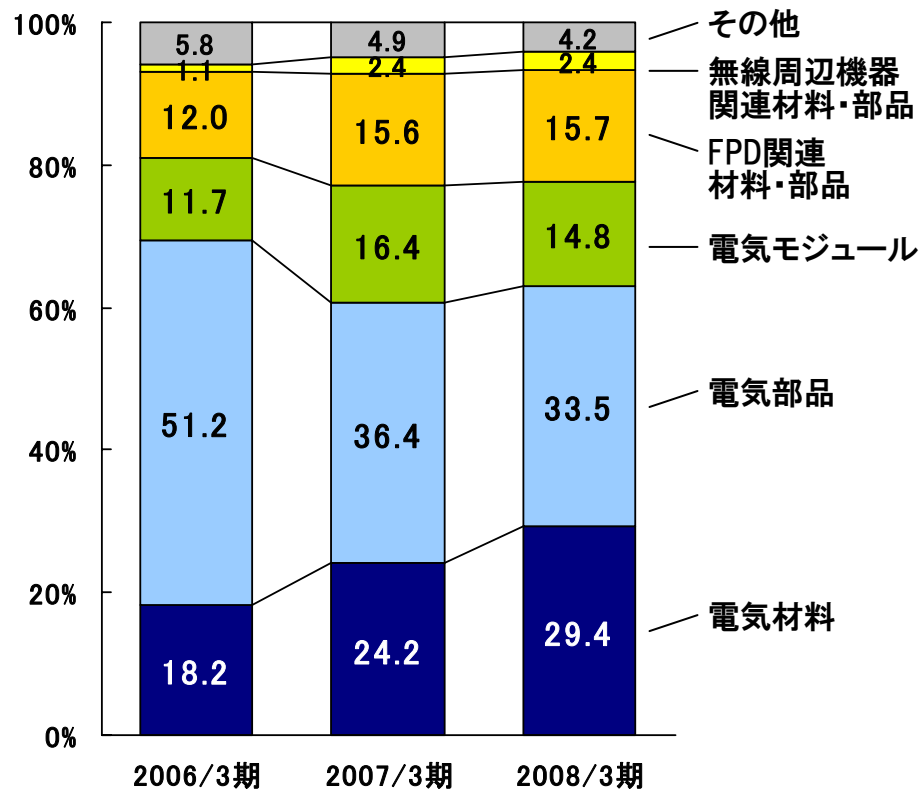
(単位:百万円、%)

	単体					連結			
	2004/6	2005/6	2006/3	2007/3	2008/3	2006/3	2007/3	2008/3	百分比
売上高	9,193	9,076	6,999	11,544	11,972	9,407	13,573	14,120	100.0
売上原価	8,063	7,829	6,079	9,848	10,211	8,276	11,613	12,060	85.4
売上総利益	1,129	1,247	919	1,695	1,760	1,131	1,959	2,059	14.6
販売管理費	787	923	683	1,130	1,083	857	1,365	1,303	9.2
営業利益	342	324	236	565	677	273	594	756	5.4
営業外収益	52	93	34	54	30	47	12	7	0.0
営業外費用	33	23	8	7	44	8	9	79	0.6
経常利益	361	393	262	612	663	312	596	684	4.8
特別利益	15	152	3	53	31	3	4	24	0.2
特別損失	5	846	11	50	0	11	8	0	0
税金等調整前当期純利益	371	△300	254	614	695	304	592	709	5.0
法人税、住民税、及び事業税 法人税等調整額	157	△118	117	274	303	140	272	305	2.2
当期純利益	214	△181	137	340	391	164	320	403	2.8

\* 2006年3月期は、決算期変更のため2005/7/1～2006/3/31までの9カ月間。

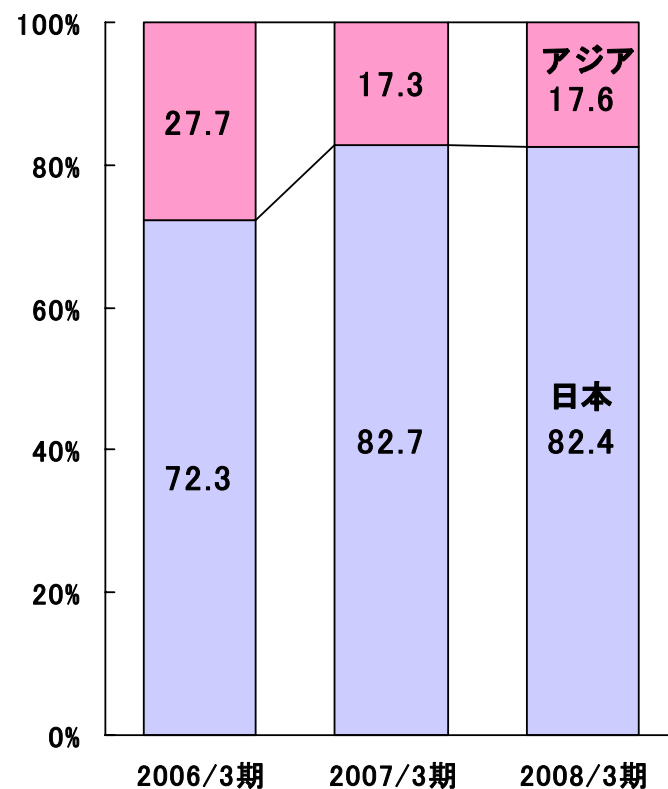
# 販売状況

■ 品目別販売構成比 ■



売上高 (百万円)	2006/3期 [9カ月]	2007/3期	2008/3期
	9,407	13,573	14,120

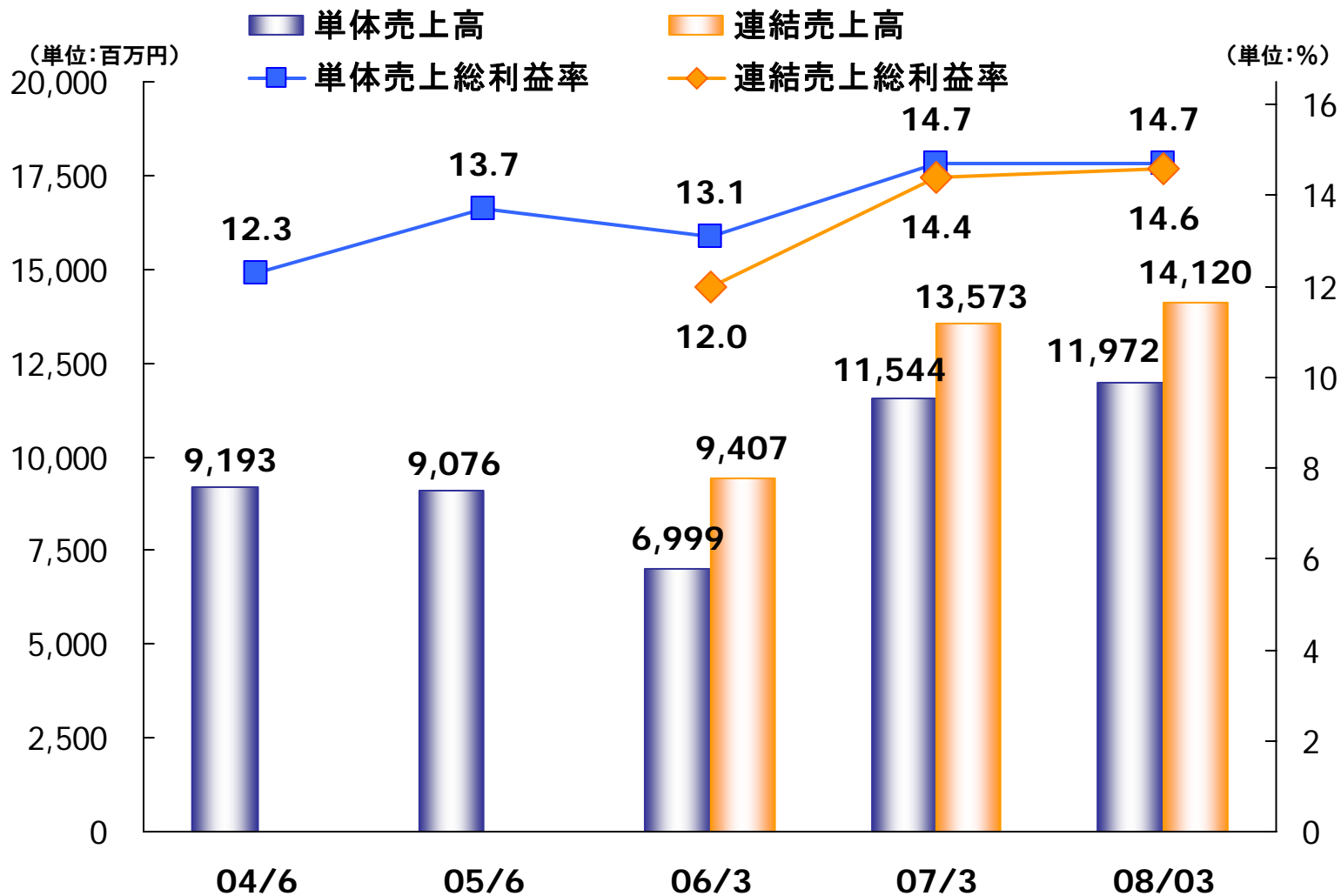
■ 海外売上高構成比 ■



売上高 (百万円)	2006/3期 [9カ月]	2007/3期	2008/3期
	9,407	13,573	14,120

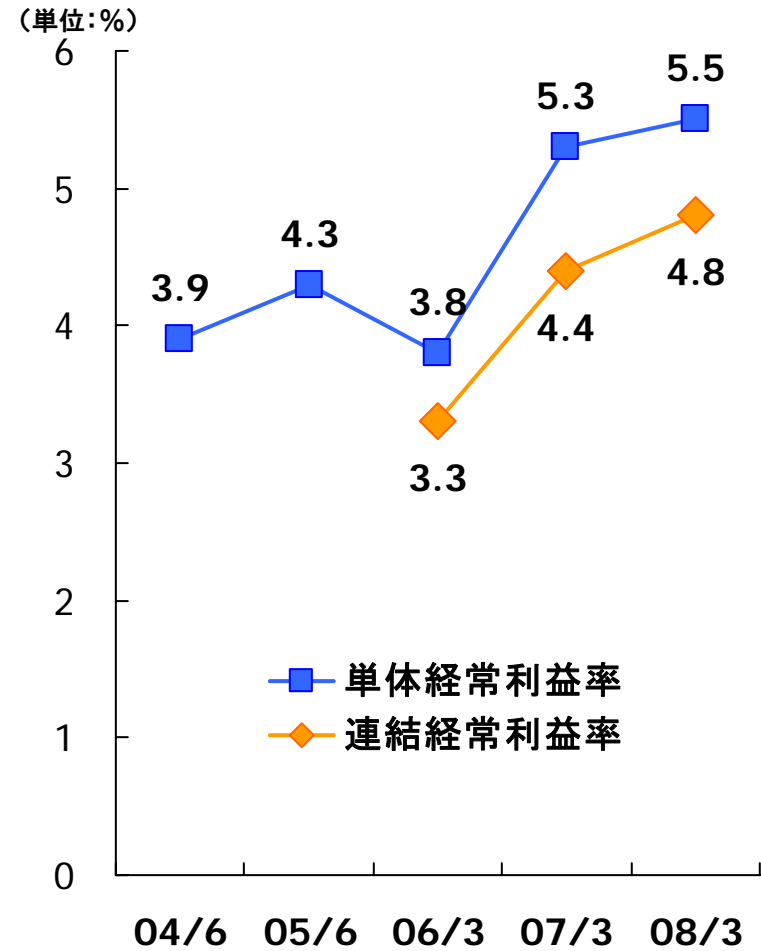
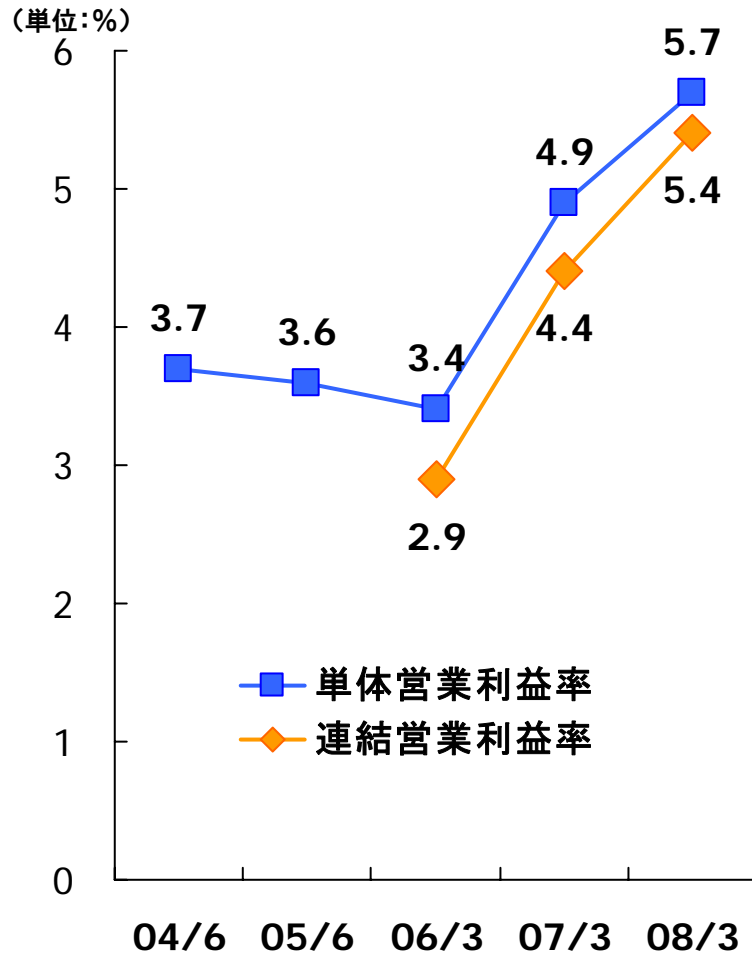
(注) 2006/3期より、旧証券取引法第193条の2の規定に準じて、監査法人トーマツの監査を受け、連結財務諸表を作成しております。

# 売上高と売上総利益率



\* 2006年3月期は、決算期変更のため2005/7/1～2006/3/31までの9カ月間。

# 営業利益率と経常利益率



\* 2006年3月期は、決算期変更のため2005/7/1～2006/3/31までの9カ月間。

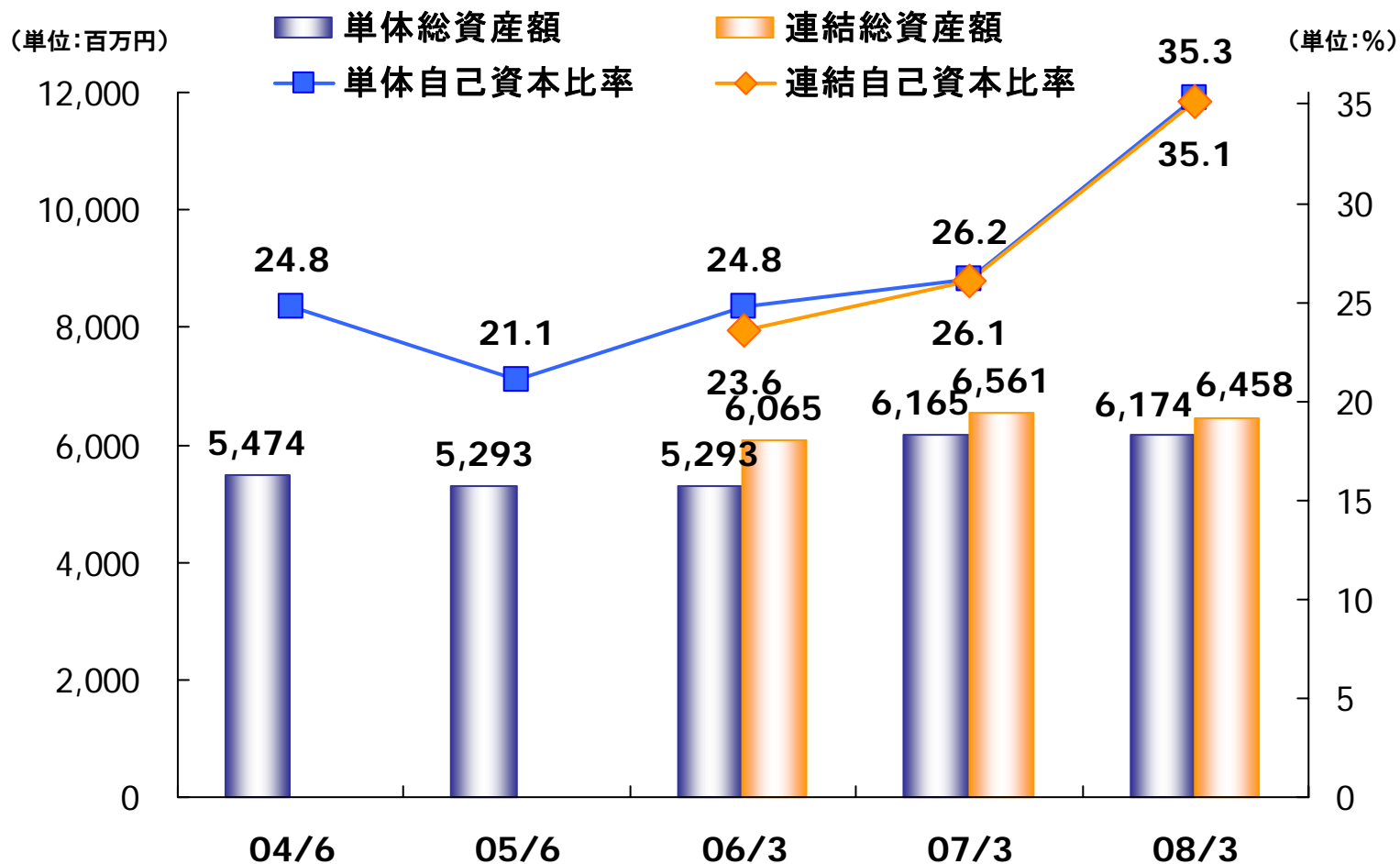
## 貸借対照表

(単位:百万円、%)

	単体					連結			
	2004/6	2005/6	2006/3	2007/3	2008/3	2006/3	2007/3	2008/3	構成比
流動資産	3,724	4,173	4,268	5,183	5,275	5,288	5,750	5,729	88.7
固定資産	1,749	1,120	1,025	982	899	776	810	728	11.3
有形固定資産	396	187	181	191	194	191	201	202	3.1
無形固定資産	10	21	22	42	39	24	42	42	0.7
投資その他の資産	1,342	911	820	748	666	560	566	482	7.5
資産合計	5,474	5,293	5,293	6,165	6,174	6,065	6,561	6,458	100.0
流動負債	3,589	3,544	3,497	4,209	3,745	4,085	4,460	3,938	61.0
固定負債	527	631	484	343	250	545	385	253	3.9
資本合計	1,356	1,117	1,311	—	—	1,434	—	—	—
負債及び資本合計	5,474	5,293	5,293	—	—	6,065	—	—	—
純資産合計	—	—	—	1,613	2,178	—	1,715	2,266	35.1
負債及び純資産合計	—	—	—	6,165	6,174	—	6,561	6,458	100.0

\* 2006年3月期は、決算期変更のため2005/7/1～2006/3/31までの9カ月間。

# 総資産額と自己資本比率



\* 2006年3月期は、決算期変更のため2005/7/1～2006/3/31までの9カ月間。

## Ⅲ.2009年3月期の業績予想

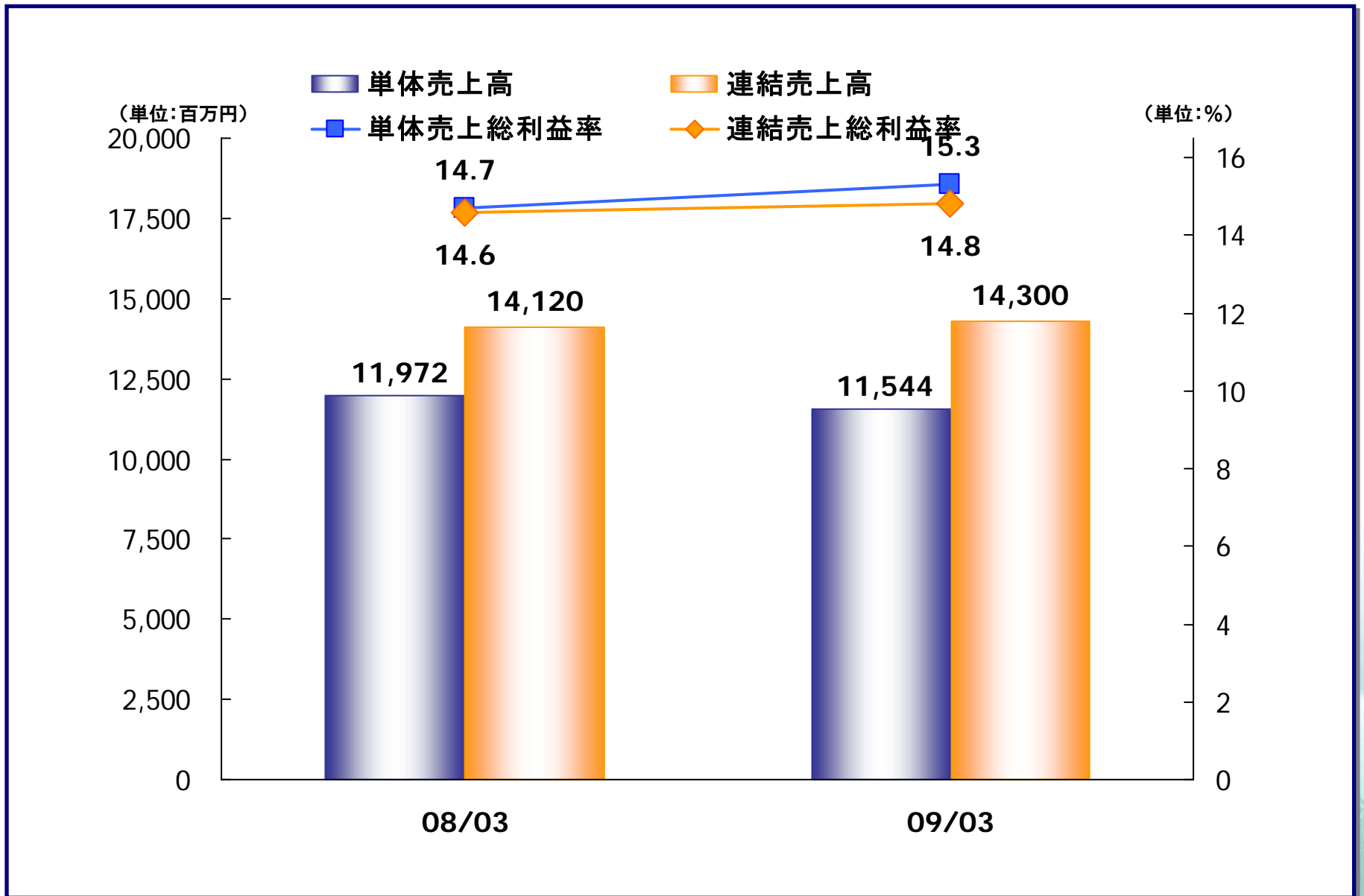
---

# 今期業績予想

(単位:百万円、%)

	単体					連結				
	2008年3月期		2009年3月期(予想)			2008年3月期		2009年3月期(予想)		
	2008/3	百分比	2009/3	百分比	前期比	2008/3	百分比	2009/3	百分比	前期比
売上高	11,972	100.0	11,500	100.0	-3.9	14,120	100.0	14,300	100.0	+1.3
売上総利益	1,760	14.7	1,760	15.3	0	2,059	14.6	2,120	14.8	+3.0
営業利益	677	5.7	555	4.8	-18.1	756	5.4	695	4.9	-8.1
経常利益	663	5.5	558	4.9	-15.9	684	4.8	696	4.9	+1.7
当期純利益	391	3.3	325	2.8	-17.1	403	2.8	430	3.0	+6.5

# 今期業績予想(前期比較)



## IV.中期の成長戦略

---

# 経営方針

## 《ビジョン(目指す姿)》

わたしたちは“より良いつながり”を  
創造・提供することで  
顧客に貢献する企業をめざし  
その実現を自己の喜びとする人材とともに  
成長しつづけます

## 《バリュー(価値基準・行動規範)》

- ① 人材の採用・育成
- ② チャレンジする組織
- ③ 公明正大な企業風土
- ④ 人権の尊重
- ⑤ コンプライアンス(法令遵守)体制

## 《ミッション(存在意義&事業ドメイン)》

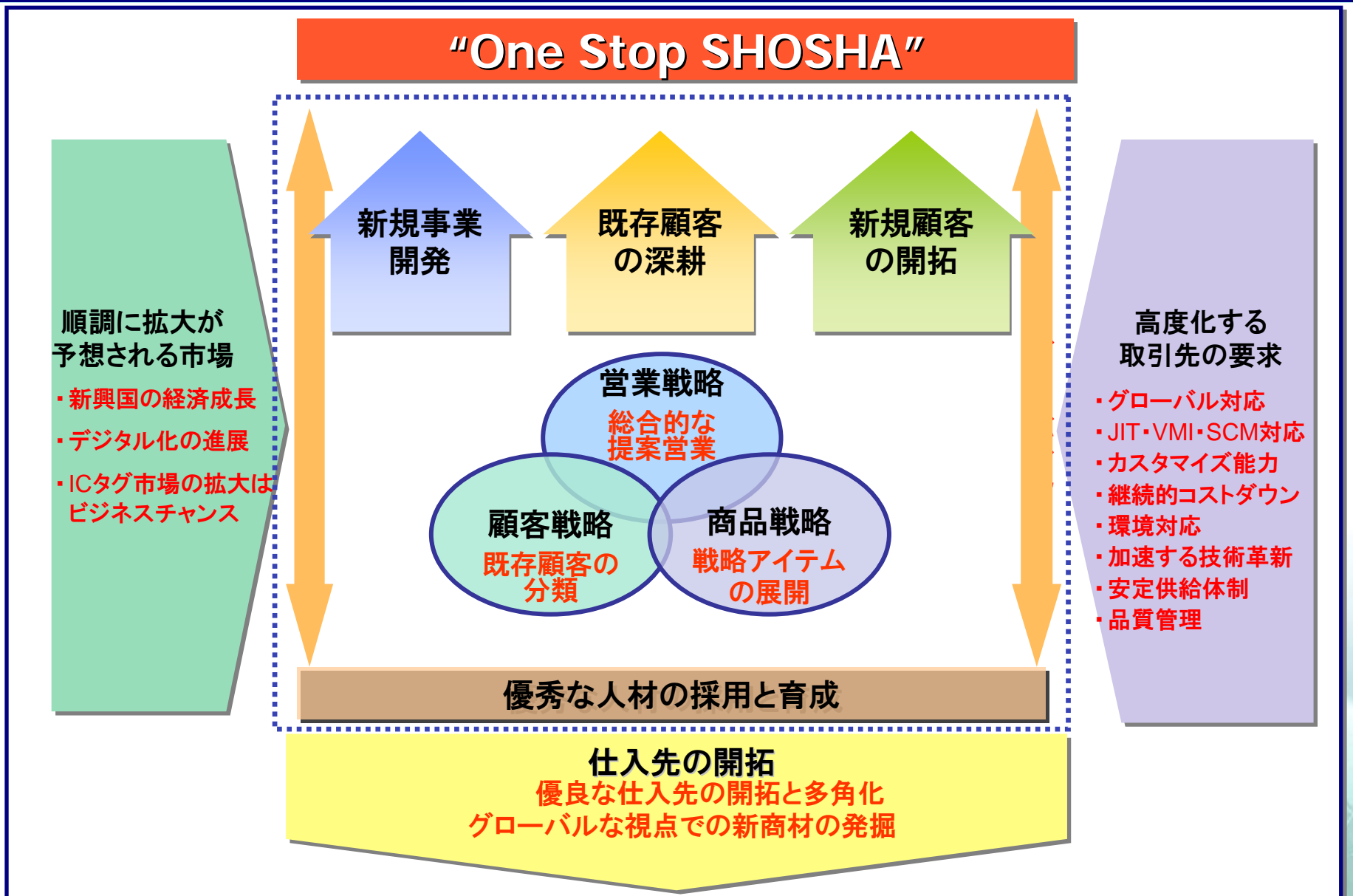
### 【存在意義】

- ① Best Integration(ベストな組み合わせ)を提供する“One Stop SHOSHA”
- ② 競争力の強化
- ③ コネクションの強化
- ④ 地球環境の保全

### 【事業ドメイン】

電気・電子関連材料、部品、モジュールの販売  
および  
加工、組立販売

# 基本戦略



“One Stop SHOSHA”

新規事業  
開発

既存顧客  
の深耕

新規顧客  
の開拓

営業戦略

総合的な  
提案営業

顧客戦略

既存顧客の  
分類

商品戦略

戦略アイテム  
の展開

優秀な人材の採用と育成

仕入先の開拓

優良な仕入先の開拓と多角化  
グローバルな視点での新商材の発掘

順調に拡大が  
予想される市場

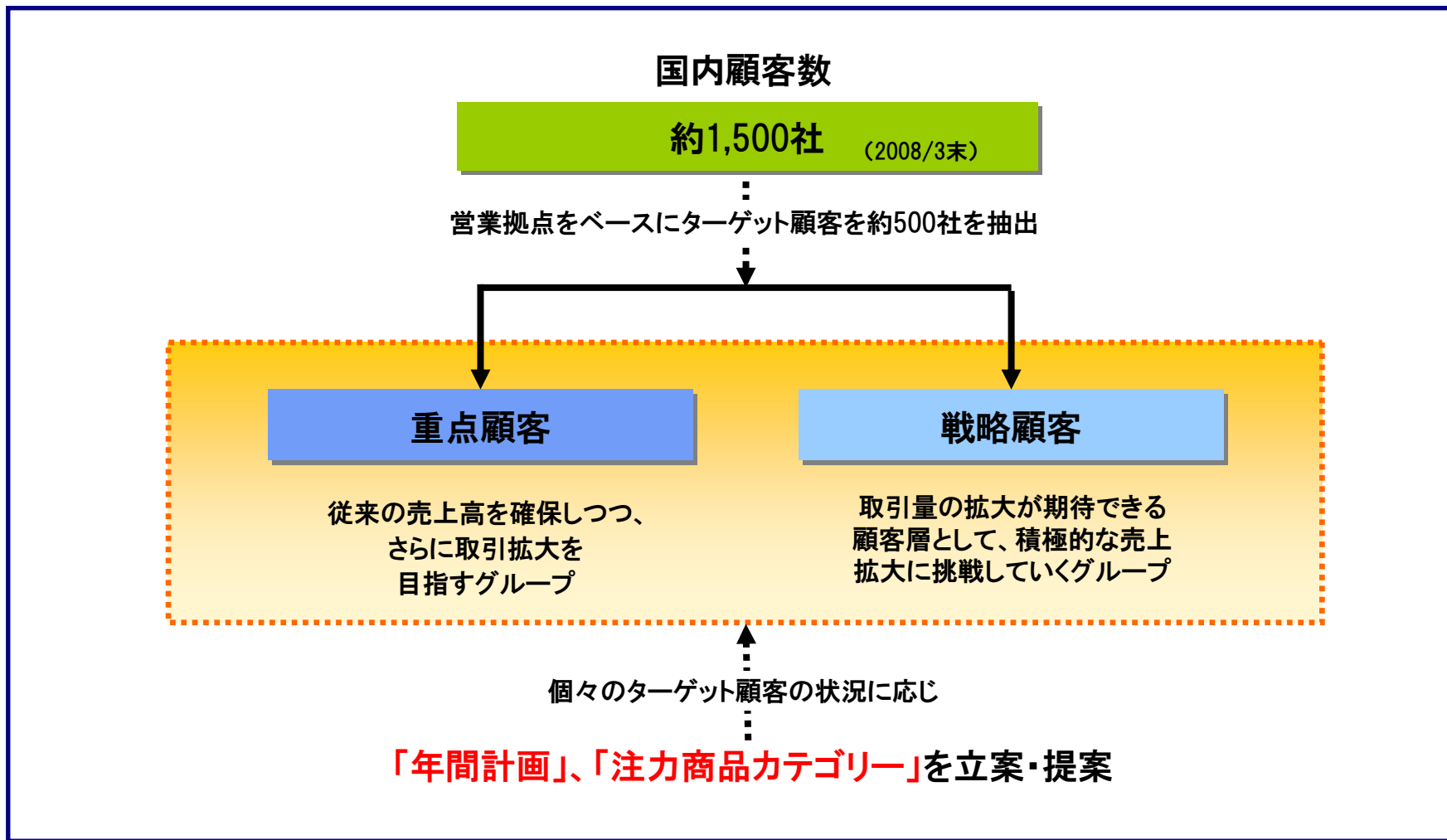
- ・新興国の経済成長
- ・デジタル化の進展
- ・ICタグ市場の拡大は  
ビジネスチャンス

高度化する  
取引先の要求

- ・グローバル対応
- ・JIT・VMI・SCM対応
- ・カスタマイズ能力
- ・継続的コストダウン
- ・環境対応
- ・加速する技術革新
- ・安定供給体制
- ・品質管理

# 1. 顧客戦略

## 顧客を層別に分類し営業エネルギーを集中する



## 2. 商品戦略

幅広い品揃えを持つ中で、用途・目的別に6カテゴリーに分類し、それぞれの成長戦略を展開

それぞれの分野の状況に合わせた成長戦略の展開

今後とも加速されると予測されるデジタル化、IT化に  
不可欠なエレクトロニクス・コア技術



■ 主要商品分類 ■

1	2	3	4	5	6
電気材料	電気部品	電気モジュール	フラットパネル ディスプレイ 関連材料・部品	無線周辺機器 関連材料・ 部品	その他

■ 戦略商品アイテム ■

カスタム電源 / カスタムテープ / 放熱製品 / RFID など

### 3. 営業戦略

顧客戦略と商品戦略に基づき営業効率を高めるとともに、  
提案営業を実践

#### 計画的提案営業

顧客分類と商品戦略に基づき、顧客別に年間計画を立案し、提案を実施。総合的品揃えをもつ当社の強みが生きる営業を展開

#### スペックイン活動

顧客の製品開発段階から携わる「スペックイン活動」により、顧客の信頼を得て、その他の商品取引につなげる

#### 新規顧客開発

売上高拡大に向けた新規顧客開発を積極的に推進していくために、開発担当者を設置。この担当者を核に、各営業拠点エリア内での新しい取引先を開拓していく

上記営業戦略が実際の現場で機能するために、  
人材の採用と育成を強化

## 4. グローバル戦略

### エレクトロニクスメーカーのグローバル化の進展 アジアを中心にグローバルなビジネスを展開



- 日系メーカーのグローバル化と最適地開発・生産・販売の加速
- エリアごとの主要な顧客に密着した事業展開

大 連 : 大西国際貿易(大連保税區)有限公司  
上 海 : 大喜貿易(上海)有限公司  
深 圳 : 深圳連絡事務所  
香 港 : 大西電氣(香港)有限公司  
ベトナム : ベトナム駐在員事務所

積極的な海外拠点拡大策を展開

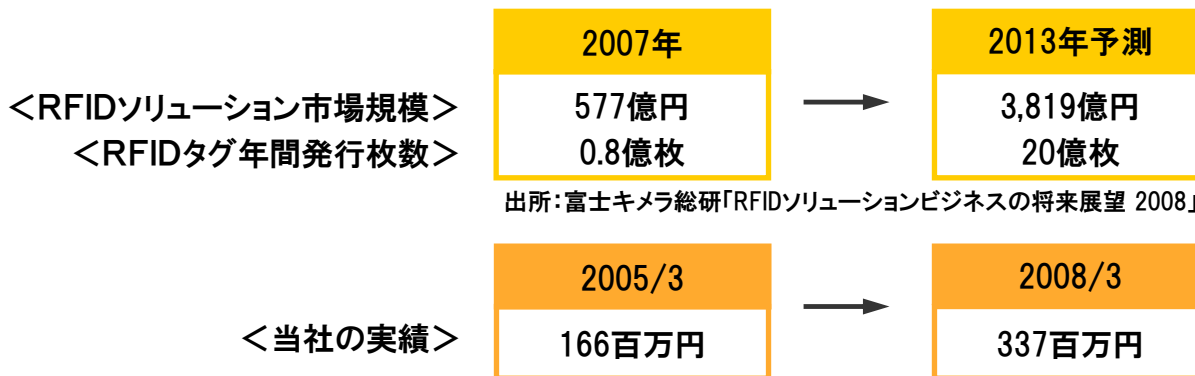
# 5. 新規事業の開発

にら  
 次世代の成長を睨み、今後成長が期待される分野において  
 新規事業開発を推進

## 成長戦略会議 (SS会議)

少数精鋭をもって、あらゆる面から成長戦略を討議し、  
 ビジネスチャンスを見逃さないスピードで  
 P(計画)D(実行)C(確認)A(見直し)サイクルを回す。

### 案件1号 (既に参入) : RFIDタグ、カード材料及び関連機器分野



# 【免責事項】

この資料は投資家の参考に資するため、大西電気株式会社(以下、弊社)の現状を理解いただくため、弊社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2008年5月26日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

平成20年5月26日

大西電気株式会社